

## 文学的な文章を読むためのワークシート (例)

登場人物の気持ちを理解したり、場面の様子を把握したりする力を身に付ける。

○平成二十七年年度調査問題の問二の文章(「うそつき大ちゃん」阿部夏丸)を読み、あとの課題について取り組んでみましょう。

※調査実施校以外の学校の皆さんは、学校に一部送られている調査問題を先生に印刷してもらい、使用してください。

一 鳥に近づいていくときのぼく(健太)の様子に一番近いものを、次の①～④の中から選び、の中に書きましょう。

## 《考えるヒント》

○ぼく(健太)は、どんな気持ちで鳥に近づいていきましたか。

○ぼく(健太)の気持ちの動きを想像し、そこから考えられる様子を見つけましょう。

- ① 鳥がよく見えるように、背伸びして近づいた。
- ② 鳥を捕まえたので、走って近づいた。
- ③ 鳥に逃げられないように、静かにそっと近づいた。
- ④ 鳥にさわるために、手を前に伸ばして近づいた。

二 「心臓がバクバクと音を立てた。」時のぼく(健太)の気持ちに一番近いものを、次の①～④の中から選び、の中に書きましょう。

## 《考えるヒント》

○あなたは、心臓がバクバクと音を立てたことがありますか？それはどんなときですか？

○ここまでや、この後の会話や地の文からも、ぼく(健太)の気持ちを想像する手がかりを考えましょう。

- ① 鳥をつかまえられそうなので、ワクワクしている。
- ② 鳥に近づくために長い距離を静かに動いたため、疲れた。
- ③ 鳥に襲われるのではないかと、こわくて不安になった。
- ④ あまりにも鳥に近づいたため、緊張が最大になった。

三 「誇らしげに右手をさしだした」ときの、ぼく（健太）の気持ちを想像して書きましょう。

#### 《考えるヒント》

- 鳥にさわるまで、ぼくはどんな気持ちで鳥に近づいてきましたか。
- 鳥にさわった後のぼくの言葉から、ぼくの気持ちを想像しましょう。
- ぼくの言葉だけでなく、大介との会話や、地の文からも、ぼくの気持ちを想像しましょう。

四 「ちくしょう、いいな、いいな。」を音読するとき、あなたなら声の大きさや読む速さなどの読み方をどのように工夫しますか。それは、この場面のどのような様子を伝えるためですか。あなたの考えを書きましょう。

#### 《考えるヒント》

- これは、誰の言葉ですか。
- ここまでや、この後の会話や地の文から、登場人物の二人がどんな気持ちになっていると考えられますか。

（どのように読むか）

わたしは、

読みます。

（どのような様子を伝えるためか）

それは、

様子を伝えるためです。

五 会話文（「 」）の文一つ選んで、その文を音読するとき、あなたなら声の大きさや読む速さなどの読み方をどのように工夫するか、それは、その場面のどのような様子を伝えるためなのか、あなたの考えを書きましよう。

（選んだ会話文）

（自分の好きな場面や印象に残る会話文を選びましよう）

（どのように読むか）

わたしは、

読みます。

（どのような様子を伝えるためか）

それは、

様子を伝えるためです。